

上手に使おう 横浜の水  
～健康と豊かな暮らしは 蛇口から～

## 令和4年度 横浜市水道事業会計及び工業用水道事業会計決算（速報値）の概要

## 水道事業会計

水道料金収入は 24 億円の増、純利益は 102 億円を確保

## 1 水道料金収入の増

令和4年度の水道料金収入は、令和3年7月に改定した新料金の全期間適用により、前年度に比べ税込で **24 億円 (3.2%) 増の 764 億円**となりました。

使用水量は、新型コロナウイルス感染症の影響による生活様式の解消が進み、前年度に比べ家事用が **892 万<sup>m</sup> (2.8%) 減少**しましたが、大型商業施設や宿泊業などの業務用等は **211 万<sup>m</sup> (3.1%) 増加**しました。

## 2 純利益の確保と累積資金残額の増

純利益は、料金収入が 24 億円増加した一方で、支出において電力価格の高騰に伴い動力費が 14 億円増加したことや、老朽管更新の更新延長が増えたことにより修繕費が 8 億円増加するなど前年度に比べて **2 億円増にとどまり 102 億円**となりました。

累積資金残額は、前年度に比べ **35 億円増加し 218 億円**となりました。

## 3 企業債の活用

今後、増大する施設更新費用の財源として、令和2年度から企業債の割合を引き上げたことなどにより、**企業債残高は 1,583 億円**となりました。

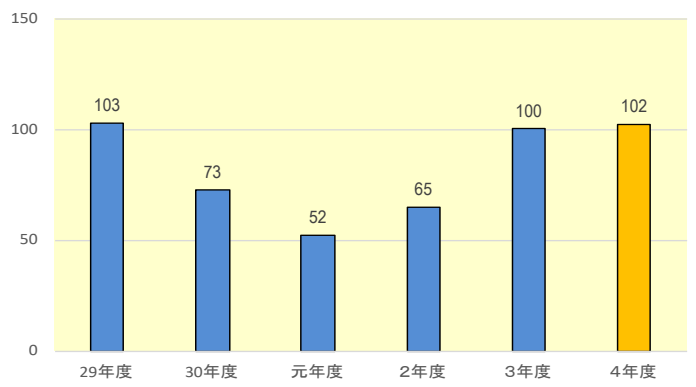
＜水道料金収入の状況(税込)＞

(単位: 億円)

	4年度	3年度	増△減
水道料金収入	764	740	24
うち家事用 (使用水量)	494 (3億468万 <sup>m</sup> )	491 (3億1,360万 <sup>m</sup> )	3 (△892万 <sup>m</sup> )
うち業務用等 (使用水量)	270 (6,999万 <sup>m</sup> )	249 (6,788万 <sup>m</sup> )	21 (211万 <sup>m</sup> )

(億円)

純利益の推移



＜財政状況＞

(単位: 億円)

	4年度	3年度	増△減
純利益	102	100	2
累積資金残額	218	183	35
企業債残高	1,583	1,546	37

## 工業用水道事業会計

### 1 工業用水道料金収入

令和4年度の工業用水道料金収入は、前年度に比べ税込で **0.5 億円 (1.8%) 増加し 28.4 億円**となりました。

### 2 純利益の確保

純利益は、前年度に比べ **0.4 億円減少し 7.3 億円**となりました。

### 3 企業債の活用

令和2年度から企業債の割合を引き上げたことなどにより、企業債残高は **35.8 億円**となりました。

《工業用水道事業会計の収支状況(税込)》 (単位:億円)

	4年度	3年度	増△減
工業用水道料金収入	28.4	27.9	0.5
純利益	7.3	7.7	△0.4
累積資金残額	36.8	38.6	△1.8
企業債残高	35.8	33.3	2.5

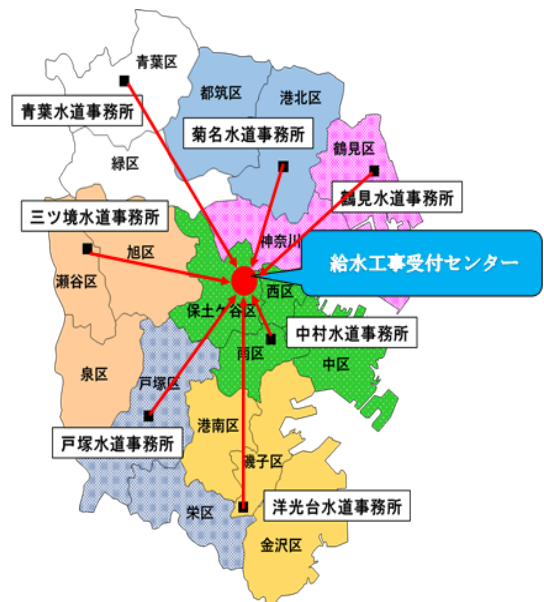
## (参考) 水道事業の主な取組

### ●給水工事受付センターが令和4年10月にオープン

住宅の新築や建替時に必要となる給水装置工事の受付・審査手続きの効率化の取組を進めています。

令和4年10月に「給水工事受付センター」を開設し、これまで市内7か所の水道事務所で行っていた給水装置工事の申請手続きを一元化することで、サービスの向上、水道局業務の効率化や将来に向けた技術力の維持を図っています。

また、令和元年度より運用している電子申請サービスについては更なる利便性の向上を図るとともに、令和6年中を目安に受付を電子申請に限定することで、DXやペーパーレスの推進を図ります。



窓口一元化の位置図



受付窓口



給水工事受付センター外観

### お問合せ先

(水道事業会計に関すること) 水道局 経理課長	大矢 雅幸	Tel 045-671-3129
(工業用水道事業会計に関すること) 水道局 工業用水課長	尾和 弘朗	Tel 045-954-3331